

児童福祉論 I

担当教員 橋本 眞奈美

配当年次 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

- 1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解する。
- 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する。
- 3 児童の権利について理解する。
- 4 相談援助において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。

【授業の展開計画】

[授業全体の内容の概要]

児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度を児童の権利の視点から理解する。

[授業終了時の達成課題]

社会情勢を学び、社会福祉士に必要な児童・家庭福祉制度の最近の動向を理解する。

週	授 業 の 内 容
1	児童福祉の学びのポイントの理解、児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要の理解
2	児童・家庭の生活実態と社会の関連性を理解する
3	子育て、ひとり親家庭、児童虐待、家庭内暴力の実態から福祉需要を把握する
4	地域における子育て支援及び青少年育成の実態から福祉需要を把握する
5	児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する
6	「児童福祉法」の概要を学ぶ、児童の定義と権利を理解する
7	児童相談所の役割と実際（組織体系、児童福祉司等の専門職の業務、他職種との連携）を理解する
8	「児童虐待防止法」の概要、社会的養護の理解と自治体の役割を理解する
9	「DV法」「母子及び父子並びに寡婦福祉法」の目的理解、婦人相談所や保護施設の役割理解
10	児童健全育成・保育と児童手当等の社会手当の役割を関連付けて理解する
11	「母子保健法」「子ども・子育て支援法」の役割理解と子どもの貧困対策について理解する
12	児童・家庭福祉制度と地域における他職種連携とネットワークと実際を理解する
13	障害・難病のある子どもと家族の理解と相談援助活動についての考察
14	児童虐待・非行・情緒障害児等と社会的養護の関連性の理解と相談援助活動についての考察
15	児童・家庭に対する相談援助活動についての整理と理解

【履修上の注意事項】

社会福祉士国家試験受験資格取得者希望者は、必ず履修する。授業前にテキストを読むこと（30分）。授業後にポイントをおさえて復習する（60分）。

【評価方法】

試験80点、授業内レポート20点で評価する。レポートの内容については講義内で説明する。

【テキスト】

『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規（最新版）

【参考文献】

社会福祉用語辞典（第9班）山縣文治・柏女霊峰編集委員代表 ミネルヴァ書房